

研究会・国際研究集会を 分子科学研究所はサポートします。

気軽に国際シンポジウムも開催していただけるよう、
海外研究者招聘の旅費・滞在費支援をしています。
是非ご活用ください。



開催経費

+

旅費

+

海外研究者招聘

<http://www.ims.ac.jp/guide/>

お問い合わせ先：E-mail：shien@ims.ac.jp

研究会開催支援プログラム

規模、用途別に6つの支援プログラムを用意し、参加研究者の旅費・滞在費などの所要経費の支援いたします。
会場は、分子研内または岡崎コンファレンスセンターを無償でご利用いただけます。お申込みについては裏面をご覧ください。

国内研究者 中心の研究会

分子研研究会(一般) 学協会連携分子研研究会(学協会等が共催する研究会)

国内の研究者中心の研究会ですが、招待講演などで数名の海外研究者招聘の経費支援も可能です。

開催規模：2～3日間、20～40人程度

支援内容：旅費・滞在費：60万円, 80万円, 120万円(規模に応じて)、予稿集作成費：15万円

英語による 研究会

アジア・オセアニア連携分子研研究会 ミニ国際シンポジウム

海外の研究者も含めた英語による国際的研究会の開催を支援いたします。

開催規模：2～3日間、20～40人程度

支援内容：旅費・滞在費：60万円, 80万円, 120万円(規模に応じて)、予稿集作成費：15万円

国際 研究集会

岡崎コンファレンス

分子科学各分野での将来展望、新展開について参加者全員で議論するための国際研究集会の開催を支援いたします。
海外の研究者の招聘をフルサポートいたします。

開催規模：国外研究者5名程度、国内研究者30名程度

支援内容：上限300万円(旅費を含む諸経費)

院生向け

若手(院生)研究会等

院生の方、分子科学に関する研究会・勉強会を開催しませんか？夏の学校の準備会なども支援いたします。

開催規模：指定なし

支援内容：旅費・滞在費：20万円, 40万円, 60万円(規模に応じて)、旅費以外の経費：15万円, 30万円, 45万円(内容に応じて)

ご利用の案内

- 申請方法** web申請 <http://imsapply.ims.ac.jp/apply/>
年2回公募、随時申請も受け付けています(岡崎コンファレンスを除く)。
- 申請対象者** 公的研究機関に所属する研究者、大学院生(一部例外があります)
- 申請前のお願い** 分子研研究会として申請にふさわしいかどうかを含め、当所の教授または准教授に必ずご相談ください。
相談先がご不明な場合は、shien@ims.ac.jp までご連絡ください。
- 報告書の提出** 実施後は報告書を提出いただきます。

スケジュール

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	……	
分子研研究会(一般) 学協会連携分子研研究会 アジア・オセアニア連携分子研研究会	前期(随時申請も可)																		
	事前相談	申込申請		採択通知		← 開催可能期間 6ヶ月 →						報告書提出							
ミニ国際シンポジウム 若手研究会等	後期(随時申請も可)																		
							事前相談	申込申請		採択通知		← 開催可能期間 6ヶ月 →						報告書提出	
岡崎コンファレンス 後期申請を受け付けることもあります	事前相談	申込申請		採択通知		← 開催可能期間 →											報告書提出		

岡崎コンファレンスセンターとは



学術研究を目的としたシンポジウム、研究会等を開催することを目的に建てられたセンターで、東岡崎駅より徒歩約10分の場所にあります。
収容人数は以下の通りです。

- 大会議室
収容人数：通常時 208人、最大時 250人程度(机なし)
- 中会議室(レセプション会場、パーテーションで2分割して使用することもできます)
収容人数：通常時 128人、最大時 170人程度(机なし)
- 小会議室(中央のパーテーションで2分割して使用することもできます)
収容人数：通常時 100人、最大時 120人程度(机なし)

分子科学研究所は創立以来、開かれた分子科学分野の研究拠点として、広く全国の研究者と共同研究することを推進し、UVSOR、機器センター、計算科学研究センターなどの共同利用施設も活用し、分子科学の発展を目指しています。共同研究、施設利用を円滑に進めるための支援プログラムが各種あります。皆様のご研究のご提案をお待ちしています。